

# 管理所レビュー VOL.12

(R1.10.3 水源林管理所)

今年度の第13回となるボランティア活動が、9月25日(水)に予定どおり実施されました。

当日は道路渋滞のため、いつもより到着が遅れましたが、気温20度程度の絶好の間伐日和となりました。皆様、大変お疲れ様でした。

早いもので今年度の活動も残すところ2回となりました。残りの活動も事故やケガを起こすことのないよう、引き続き安全第一を心掛けた活動にご協力をお願いします。

それでは、安全活動のための水源林管理所の振返りなどをお知らせします。

## 1 54名のご参加、ありがとうございました！



道志村は秋の気配。



雲の多い空模様となりました。



首のストレッチもしっかりと！

## 2 当日の作業の様子。



浮いた材の玉切りは要注意！



傾斜地では足元に注意して！



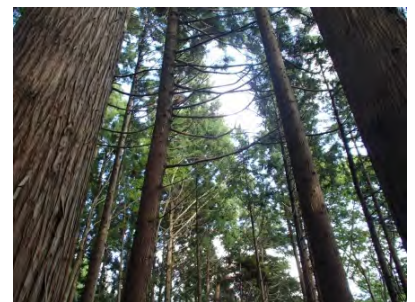
伐倒方向の障害物も要確認！



傾斜した広葉樹へのかかり木注意！



伐倒前の状況。上空に注目！



伐倒により上空に空間ができました。

## 3 急傾斜地での作業は要注意！

急傾斜地での伐倒作業や玉切り作業、材の運搬などは大変危険ですので、十分注意して作業してください。

### ◆急傾斜地での注意事項

- ①伐倒方向は、横 or 斜め下とする。(原則、真下への伐倒は禁止。)
- ②斜面上部と下部で同時に作業を行わない。(上下作業の禁止。)
- ③折れ枝などの落下物に注意する。(瞬時の移動が困難なため。)
- ④足場の安全確保を行い、作業者自身の転落に注意する。



安全確保が最優先。

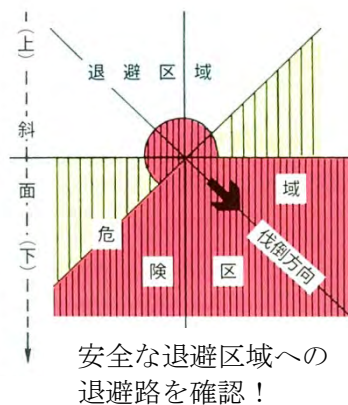


#### 4 再確認しましょう！

貴会で作成した「道志水源林・整備活動開始に先立つ留意事項」を参加される全ての方々に再確認及び共有しましょう。

##### ◆留意事項「3. 作業全般を通し」の一部抜粋掲載

- ①受け口切りに入る前には、作業場所周辺の整理と安全な場所への退避路の確認を行なうこと。
- ②立木を確実に目標場所へ倒すためには、正確な受け口と追い口を切る事が重要である。安全作業のため、伐倒に伴う一連の作業動作の再確認を行なうこと。
- ③呼子（ホイッスル）は、追い口切りを終え、切り手の避難を確認し、ロープ引きの指示をする時だけ、“ピーー”と長く吹くこと。
- ④玉切り後の集材は、木口のいずれか一方を揃えること。
- ⑤掛かり木が発生した時は、インストラクターは直ぐに処理に動かず、掛かり木を良く観察して状態を把握した後、状況にあった処理方法の指示を行なうこと。



#### 5 インストラクター林業実技実習・・・間伐編

今回は8班の通常の活動の中で、「道志の森インストラクター」への昇格候補者2名の林業実技実習が実施されました。

現地指導員と水源林管理所職員により、参加者への指導、監督、安全管理及び基本動作などのポイントの再確認を行なった後、当管理所職員が知識と技術力などを見極め、インストラクターとしての役割が果たせる能力を備えているかを評価する実習を行ないました。

事故等が無く、安全に活動するには、**インストラクターの活躍が重要になります**。これからも確実な知識と技術を身に付けたインストラクターが増えていくよう、水道局でも出来る限りのサポートをしていきますので、引き続きご協力よろしくをお願いします。



※ 10月5日（土）は、晴れのち曇り、最高気温 25 度、降水確率 10%の予報となっています。

★それでは10月5日、気をつけてお越しください。